

人文社会科学研究科 国際日本研究専攻(博士後期課程)

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門基礎科目	専攻共通科目	プロジェクト演習3、プロジェクト演習4 大学院博士入門演習	2または3
専門科目	専門科目		6または7
修了単位数			9
<p>・上表に基づき総単位数として9単位以上を修得すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門基礎科目の「プロジェクト演習3」、「プロジェクト演習4」を必ず修得する。</li> <li>・後期入学者は、専門基礎科目の「大学院博士入門演習」1単位を必ず修得し、専門科目6単位以上を修得する。</li> <li>・前期から進学する学生は、専門科目7単位以上を修得する。</li> <li>・専門科目6単位また7単位のうち2単位以上を、必ず複合研究学位プログラムの専門科目から修得する。</li> </ul> <p>・上記の他、人文社会科学研究科が行う「研究倫理等についてのガイダンス」を受講することを修了の要件とする。</p> <p>・e-learning (eL-CoREまたはeAPRIN〔旧CITI Japan〕)での受講修了証を博士論文予備審査申請の際に提出すること。</p>			

人文社会科学研究科 国際日本研究専攻  
日本語教師養成プログラムについて

人文社会科学研究科の修了要件(博士前期/修士)を満たし、国際日本研究専攻日本語教育学学位プログラムで開設する以下の科目を取得し、かつ要件を満たした者に、人文社会科学研究科より「日本語教師養成プログラム修了証明書」を交付する。なお、履修にあたっては、学生の申請した年度の履修要件をその学生に対して適用する。ただし、履修要件に変更が生じた場合、変更前にプログラムの受講を一度でも申請したことのある学生が、申請翌年度以降に改めて申請することにより、異なる履修要件の適用を受けようとすることはできない。

1. 国際日本研究専攻の日本語教育学学位プログラム(前期課程)の学生

- ・「日本語教育原論」「日本語教育評価法」(計2単位)を取得していること。
- ・修士論文のテーマが日本語または日本語教育等に関するものであること。
- ・「日本語教育実践研究1」「日本語教育実践研究2」「日本語教育実践研究3」の中から2科目(計6単位)を取得していること。
- ・日本語教育学学位プログラムの専門科目から6単位を取得していること。

2. 上記1以外の他の学位プログラムおよび他専攻に所属する学生

「日本語教師養成プログラム」の履修を希望する場合は、春Aモジュール開始後3週目の「日本語教育原論」(水曜5限)までに日本語教育学学位プログラムのリーダーに連絡し、履修許可を得たうえで、以下の要件を満たさなければならない。

- ・「日本語教育原論」「日本語教育評価法」(計2単位)を取得していること。
- ・「日本語教育実践研究1」または「日本語教育実践研究3」から1科目(3単位)を選択し、取得していること。
- ・日本語教育学学位プログラムの専門科目から計7単位を取得していること。
- ・ただし、他の学位プログラムおよび他専攻に所属する学生は、当プログラムの履修に関して、必ず所属専攻の指導教員の了承も得ておかななければならない。

以上